

## メガネを通じて新しい日常に価値を提供する JINS の企業姿勢を表現 ブランドムービー『JINS Innovations / JINS SCREEN 篇』 2020 年 11 月 2 日（月）より TVCM 放映、YouTube 公開開始

株式会社ジズ（東京本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：田中仁、以下 JINS）は、ディスプレイから発せられるブルーライトをカットする機能性アイウェア「JINS SCREEN」を軸に、新しい日常におけるメガネのあり方について考え続ける JINS の企業姿勢を伝えるブランドムービー『JINS Innovations / JINS SCREEN 篇』を、2020 年 11 月 2 日（月）よりテレビ東京（および BS テレ東）『ワールドビジネスサテライト』で放映開始、あわせて YouTube でも公開します (<https://youtu.be/1ihclr6sDH0>)。



### テレワークやオンライン授業の推奨で改めて注目されるブルーライトカットメガネ

ブルーライトとはパソコンやスマートフォンなどのディスプレイから発せられる強力な青色の光で、疲れ目や頭痛、生活リズムの不調といった身体への影響が懸念されています。「JINS SCREEN」はその光への対策として、専門医や学術機関との共同研究のもと 2011 年に業界に先駆けて発売されたブルーライトカットメガネです。現在では累計販売本数 1,100 万本\*を突破するなど、多くの方にご愛用いただいています。

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためテレワークやオンライン授業などが推奨されたことにより、多くの方がディスプレイに向き合う時間が増え、ブルーライトとの接触機会はより増加傾向にあります。JINS ではこうした状況を受け、2020 年 4 月から 7 月まで「JINS SCREEN」のオプションレンズを +0 円で装着できるキャンペーンを実施。これまで以上に多くのお客様にブルーライトカットメガネを購入いただきました。

\*：2020 年 1 月末時点

### JINS がメガネを通じて提供できる価値を改めて自らに問うブランドムービーを制作

この度公開となったブランドムービーでは、2020 年 4 月に公開した『JINS Innovations / JINS Violet + 篇』から引き続き鎌谷聡次郎氏を監督として起用。「いま必要なメガネってなんだろう？」「そのメガネは、人を守れるか」と問いかけるコピーを用いて、商品を通じて社会に対し提供すべき価値を問い続けている JINS の企業姿勢を表現しています。

35mm フィルムを用いて光や影といった細かなディテールを映し出しながら、いまでは必要不可欠になったディスプレイに接する生活において、ブルーライトを「悪」ではなく新しい日常において身近な存在として描きました。ナレーターには歌手の UA さんを起用。優しく語り掛ける声で本 CM のテーマを語り掛けます。

## ブランドムービー概要

『JINS Innovations / JINS SCREEN 篇』 (30 秒)

2020 年 11 月 2 日 (月) よりテレビ東京 (および BS テレ東) 『ワールドビジネスサテライト』で放映開始。YouTube にて公開 (<https://youtu.be/1ihclr6sDH0>)。

## 制作スタッフコメント

### Creative Director・富永 敬 (The Breakthrough Company GO)

「そのメガネは、人を守るか。」メガネのリーディングカンパニーである JINS が自分たちに問いかける本質的な問い。これは同時に JINS の新たな日常への宣言でもあります。

「JINS SCREEN」のブルーライトをカットするという機能の奥にある「人を守る」という本来の価値や、JINS がメガネを作っていく企業としての思想を伝える映像です。

表現では、ブルーライトを「悪」として描くのではなく、新たな日常と共に生きていく必要な存在として描きました。モノクロの世界に差しこむスクリーンの光を美しくきり取ることで、新たな表現にチャレンジしました。

### 監督・鎌谷 聡次郎 (辻事務所)

新型コロナウイルスにより、なんでもない日常こそがかけがえのないものだとは私たちは気づかされました。

そして私たちの生活様式は大きな変化を余儀なくされましたが、コズミックな視点で考えた時、生命の活動とは川の流れるようにとどまることなく絶えず変化していくのが常であります。

この新しい日常をより良いものにしようと誠実に真摯に取り組んでいる JINS の企業姿勢を、当たり前前の日常を美しく思えたり、変化し続ける新しい日常に優しく寄り添った読後感の映像を通して伝えることを目指しました。

絵画的な光や影の表現をうまく取り入れたかったので光のディテールを細かく感じる 35mm フィルムで撮影をしています。音楽にはとてもこだわり、前向きに感じさせたいが安易にポジティブな音楽を作るのではなく不器用だけれど一音一音を大切に奏でているイメージでと音楽プロデューサー、作家さんと打ち合わせを重ねました。

結果、ブルース的でどこか子守唄のような人肌感のある音楽ができたと思っています。

その調べに優しく寄り添った母性を感じる声を載せたく、UA さんにナレーションをお願いいたしました。

## 制作スタッフ

Executive Creative Director	三浦 崇宏	カラリスト	石山 将弘
Creative Director	富永 敬	CG	犬童 宗垣
Business Producer	木谷 謙介	オフラインエディター	遠藤 文仁
Business Producer	大木 昌哉	オンラインエディター	坂巻 亜樹夫
		ミキサー	佐藤 雅之
Creative Producer	加藤 久哉	音楽プロデューサー	福島 節
Producer	陽 智史		
Producer	川嶋 隼人	ナレーター	UA
Production Manager	小辻 博也	キャスト	アニカ
		キャスト	Fernand
監督	鎌谷 聡次郎	キャスト	sami
助監督	荒木 健二	キャスト	Leem
カメラマン	川上 智之	キャスト	サキブ アル・ハシン
照明技師	上野 甲子郎	キャスト	アリヤ ビジュ
美術デザイナー	松本 千広	キャスト	inge
ロケーションコーディネーター	中垣 創		
キャスティング	中村 裕之		
スタイリスト	武久 泰洋		
メイク	吉田 奈央		
ヘア	佐藤 知子		